

兵庫県民会館の管理運営に関する評価【平成27～29年度】
(兵庫県民会館指定管理者候補者選定委員会)

1 施設維持管理業務

- ① 平成27年、28年に行った利用者アンケート調査（以下「利用者アンケート」という。）の結果によると、「施設の清潔さについて」は、5段階評価ですべて平均4以上を維持し、利用者から高い評価を得ている。
- ② 設備の老朽化がみられる施設であるが、利用者に快適に利用いただけるよう、小修繕を迅速に行うとともに、会議室等の内装工事、温水便座の設置、会議机やいすの更新等、施設の適切な管理を行っている。
- ③ 電力需給先の入札による選定や照明のLED化など、運営コストの削減を図っている。
- ④ 自動販売機にノンフロン型や、災害時における飲料水の無料提供機能を備えた機種種の導入や、帰宅困難者対策としてのエマージェンシーシートの導入など、社会的な価値への取り組みが評価できる。

2 運營業務

- ① 会議室・ホール等の利用については、朝8時からの準備を可能にし、夜間22時まで利用できるようにするとともに、駐車場については、ロボットゲートの導入により24時間利用を実現するなど、利用者の利便性が確保されている。
- ② 利用者アンケート調査の結果によると、「施設・サービス内容について」は、平均評価4以上であり、利用者が概ね満足している。
- ③ なお、県民会館の運營業務ではないが、指定管理者の芸術文化協会がロビーコンサートや鈴懸の径美術展など各種文化事業を実施することにより、県民会館の賑わいづくりにもつながっている。

3 利用状況

- ① 総利用者数は平成27年度52万人、平成28年度54万人と、利用状況は良好である。
- ② 会議室は、平成27年度73%、平成28年度75%以上の高い利用率を達成。
- ③ ギャラリーについては大・中展示室は平成27年度60%台と前回よりも10%程度下がったが、平成28年度は原田の森ギャラリーが改修工事により閉館していた影響から大展示室は80.6%、中展示室は76.3%と、高い利用率となっている。
特別展示室については、平成26年度の料金値下げにより50%前後と10%程度増えている。一方、小展示室については、40%前後と低迷している。

平成 29 年度は、原田の森ギャラリーリニューアルオープン後の影響が懸念されたが、第一四半期においては、大きな落ち込みはみられず一定の利用水準が維持されている。

- ④ また、ギャラリーについては、県からの委託による内装改修が予定されており、さらなる利用率アップが期待される。

4 収支状況

- ① 利用率の向上に向けた取り組みや、駐車場の機械化による人件費の削減（△3人）や電力需給先の入札による変更、照明の LED 化をすすめる等の経費節減により、収支の均衡を保っている。
- ② 平成 27 年度、平成 28 年度とも、年度協定で定めた県への還付金が確実に支払われている。

5 運営体制

経験豊富な OB 職員を配置し、人件費を削減しながらも、利用者アンケート「職員・スタッフの対応について」において、平均評価 4 以上を保つなど、利用者の利便を損なわずに、適切に業務を行っている。

6 総評

利用者アンケートの評価も高く、維持管理状況、運営状況ともに良好である。事業計画に基づいた適切な管理運営が実施されたと認められる。

(参考)

指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職
三木 哲夫	兵庫陶芸美術館館長〔委員長〕
宇田 名保美	中小企業診断士
梅津 千草	(公財)尼崎市総合文化センター営業貸館担当主幹
小畑 由起夫	兵庫県企画県民部知事室長
宮本 慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表